

別記

指令第百十六號

十月五日  
東京支那議事部

支那部御中

調停委員會の會期も今期より二日間と切迫した。我等ノ力ヲ前  
 にと尚ほ果敢撤回を余儀なくされたるが然し乍ら二割の償下を強  
 引し敵首者はその儘切り去る人としてゐる。我々は此人を調停案  
 とは絶対反対だ。而も官憲も此の案の強引に協力せんとし既に  
 再ストに對しては徹底的斷圧によつてスト圧殺を計画してゐる。  
 斯くて二割償下反対、敵首の即時取捕、罷革中より給金額支給  
 要求の再ストに對しては大彈圧の準備されてゐる。我々は此の  
 淨正と蹴つて来ふ為めには充分の準備と決意と注意が必要だ。  
 全支那は此際たる決意を以て全従業員が生むか死ぬかを決定せ  
 んとする最後の決戦に待機せよ。  
 切迫せる決戦の危機に備へたの如く指令す。